三里塚
野戦病院ニュース
No.16
'71.4.7
成田市 駒井野
三里塚地区
救対本部

4.6 三里塚 北富士 ∞ 闘争連帯集会に五千名

★オ二次強制収用阻止に向け、斗争開始！

全県民のみなさん、四月六日 東京の日比谷野音において、三里塚北富士連帯集会が 四六実行委員会の呼びかけのもとに開催されました。集会にはこのたびの地下壕戦を支援激励しさきに、学生 労働者 農民、市民約五千名が結集し、反対同盟 北富士の農民もバスを連ねて参加しました。反対同盟の北原事務局長のあいさつ、闘争報告に続いて、青年行動隊、少年行動隊、老人行動隊の勝利の確信にみちた決意表明がなされました。とりわけ少行隊の宮本由美子さんの「悪虐非道な公団 機動隊に対し正義の闘いを最後まで貫きます」との力強い発言は会場からわれんばかりの拍手をあびました。きたダコツボにたてこもって米軍の演習を実力阻止した北富士の農民からも共に闘う決意表明がされました。最後に「六月のオ二次強制収用を全力で阻止しよう」を全体の確認とし、東京駅まで終始戦闘的なデモを貫徹したのです。

全県民のみなさん。五月末とも言われる、オ二次強制収用阻止に向けて 斗いはすでに開始されております。

☆革マル派の集会破壊糾弾！

この集会の半ば頃、二月二十八日 野戦病院の救急車を襲い一名に重傷を負わせた、革マル派が 集会破壊のみを目的に、石、竹ザオ、鉄パイプ等を持ち、三里塚で勇子として斗った 労働者、学生の部隊におそいかかってきました。しかしこのうす汚ない野望は斗う部隊の反撃をうけ、みごとに粉砕されました。

私達は再度にわたる権力の手先＝革マル派の三里塚斗争への敵対行為を 徹底的に糾弾します。

☆公団は取香の工事をただちにやめろ！

—大木よねさん騒音公害で重態—

四月六日、取香の大木よねさん（反対同盟 65才）は仕事中突然倒れました。よねさんは、このかん食事はほとんどのどを通らず、一日二時間しか眠れず、血尿を出す程体が衰弱しております。野戦病院の医師の診断によると、よねさんは、家から五メートルも離れていないところで、朝は暗いうちから開始されるブルドーザー、生コンミキサー等の家をも揺かす地響きと騒音によるノイローゼであるということです。

反対同盟と野戦病院、支援の部隊は、公団に「工事をただちにやめよ」と抗議し 公団側から「五日間は工事を中止する」との確約をとったにもかかわらず 現場では工事を強行し、今なお工事の騒音はよねさんを苦しめています。もし空港ができてしまったら、このような被害は周辺何十万の人人に及ぶのです。だからこそ反対同盟は空港建設を阻止しつづけているのです。

全県民のみなさん。空港公団に抗議の渦を！ 取香の工事をただちにストップさせよう。病床にありながら、オ二次強制収用阻止に向けて闘志を燃やす大木よねさんに激励の電報、手紙を

四月四日～五日、東京で反「日本医学会総会」が、全国から三千名の結集で開かれ、野戦病院は烈火をくぐり抜けた野戦病院旗をかかげて参加した。「地下壕健在」の報に会場は万来の拍手がなりやまず野戦病院の闘いは日本医学会に大きな反響をまきおこした。

野戦病院の訴えに応え 野戦病院の今後の医療活動に向けて十万円ものカンパがよせられた。